

ルンダーレ宮殿(ピルスルンダーレ宮殿)(ラトビアバウスカ市)

リガの南 60 キロの場所にある、ピロン公の夏の宮殿として 1736 年から 1740 年にかけて建造された、ラトビアの中でも特に見事なバロック＝ロココ様式の記念建造物です。フランスのベルサイユ宮殿を思わせるバロック様式の建造物であることから、「バルトのベルサイユ」とも呼ばれています。この宮殿はサンクト・ペテルブルグの冬の宮殿を建築した、イタリア人建築家ラストゥレリが設計を手がけました。ここでは毎年夏にバロック音楽フェスティバルが開催される他、パーティーなどにも使用されています
「DTAC ラトビア観光情報局」サイトによる

